



令和2年
4月号



発行人 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館
〒747-0108 奈良市茗荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「愛郷の田原」

館長 泉森 由貴

ガレージに並ぶ数台のクルマのナンバーはすべて345。不思議に思ってたとうと、みよご。茗荷町をもじって選んだとのこと。微笑ましくて吹き出してしまったことを思い出します。

この6年間、私は田原という言葉は何度聞いたでしょうか。地域の人が地域のことを日常的に語る。そんな当たり前のことが今とても貴重に思い返されます。



個人、家族、そして地域。自分たちが暮らしている環境をいつも意識においている。田原はそんな人が生活するところだと思います。

奈良の人は住んでいる町のことを聞かれると、「何もないところ」と答える人が多いといいます。でも、それは謙遜じゃなくて無知なだけ。はじまりの地といわれる奈良。悠久の歴史を刻んできたこの地に何も無いことはありません。それはここ田原にも同じことが言えると思います。

私は田原に勤めてたくさんの知識をいた

だきました。それは、ほとんどが日頃のお話の中からこぼれ落ちたもの。地域の方がいろいろな思い出とともに語られるそれは、単に歴史書を読んで得た知識とは全く違う血の通った経験談でした。まるで本気で人生を歩んできた方々の時間の追体験のようなものでした。

そして、ここで体験したことのひとつをこの公民館報にその時の思いと共に書き記すことができました。6年間で72号。休刊することなく、地域と人と共にある公民館からみた田原を表現できたものと自負しています。

着任した時に浦辻前連合会長から教わった「富村良俗」という言葉。「村を豊かに、心を美しく」この景色が受け継がれた想いを表しています。今たくさんの田原人の笑顔に重ねて私の心に留めておきます。

いつも館報を真っ先に読むと伝えてくださった方。毎号、励ましと感想をいただきました。あなたのその言葉に勇気をいただきました。続けてこられたのは、読者のお顔がいつでも浮かぶからでした。

今回この紙面をお借りして、私の離任、そして異動のお知らせをいたします。異動先は平城東公民館です。これが私の最後のカーテンコールです。どうか新年度も引き続き田原公民館を愛着をもってご利用ください。ありがとうございます。

茗荷町で奈良安全索道の遺構が発見されました

大正から昭和にかけて大和高原と奈良市街を結び、特産の凍豆腐などをロープウェイで運んだ「奈良安全索道」の遺構が、2月21日に茗荷町内で見つかりました。これは支柱の基礎になるコンクリートブロックで、4個が一辺3m10cmの正方形に並んでいます。礎石の大きさは約52cm四方で、高さは10cmから50cm。中央に直径13mmのアンカーボルトが10cmほど突出しています。場所は索道の八反田駅（矢田原町）、天満駅（南田原町）の中間よりやや東よりの場所です。索道の支柱は、京終駅から小倉駅間16.8kmの中に111基あったようですが、索道廃止（昭和27年）後全て撤去されました。またその跡もほぼ場整備や山の開墾などではほとんど残っていませんでした。



今回の礎石の発見は当時の索道の支柱の様子に分かる貴重な資料となります。鉄柱の高さは立地条件によりありますが、大体10〜12m位だったと思われます。奈良安全索道は大正8年に開業。11年に

京終〜小倉間の全線16・8キロが開通。田原には八反田、天満の2駅。ほかに4駅を合わせて計6駅がありました。

大和高原からは凍豆腐や木材など、奈良市街からは大豆や日用品などを運搬していました。しかし、凍豆腐づくりの衰退やトラック輸送の台頭で、30年ほどで役割を終え、その後、ほとんどの遺構が失われたことから幻のロープウェイとも呼ばれていました。

田原公民館では、この索道をテーマにした「幻のロープウェイの軌跡を追って」を5月27日より開講予定です。2年前にも開催した講座ですが、今回の発見をもとにさらに発展した事業にする予定です。地域の皆さまからも是非、索道の情報をお寄せいただき、田原の近代歴史遺産の保存と発信にご協力願います。詳細は公民館まで。

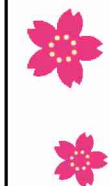


支柱を再現した模型

お世話になりました

浦川 温亮

この3月で退職することになりました。昨年、採用されたばかりで、やっと慣れたところでしたので、残念です。やり残したことがいっぱいあるような感じです。わずか1年間でしたが地域の皆さんには多大なご協力とご支援をいただき、本当にありがとうございました。





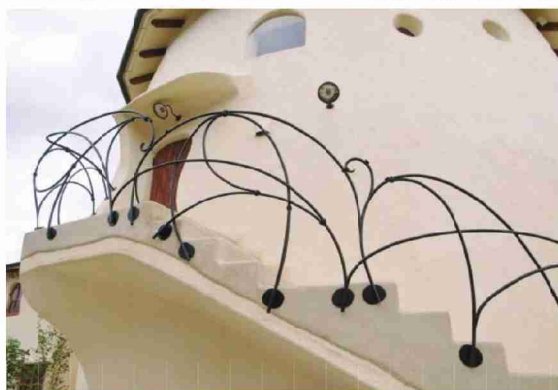
取材・写真：上西 美智子

大野町にある 鍛鉄そらみつを訪ねました

風の強い雪が舞う日に、大野町の工房「鍛鉄そらみつ」の竹内慎一さんを訪ねました。

▼なぜ看板が無いのですか？●お客さんが、頻繁に物を買って帰る場所ではなく工場なのです。ここに来られる方は、制作の相談や依頼されたクライアントが打合せのために来られるくらいで、作った物（建築に関わる装飾や柵など）は、私が納品や現場に取り付けに行くので、集中して制作するためにあえて看板を出していないんです。▼屋号「鍛鉄そらみつ」について教えてください。●奈良で仕事するにあたり、奈良を想像させる言葉を万葉集の枕詞から「そらみつ」が良いなと思っていました。そらみつとは「良いところだよ」という意味もあります。「鍛鉄」って意味は、日本で言う鍛冶屋さんです。日本の鍛冶屋さん

は鉄を叩いて鉄や包丁などの実用的な道具を多く作っています。私の作っているのは西洋鍛冶で、住宅に関わる美しい装



竹内さんの仕事のひとつ

飾なんです。無垢の鉄を火で熱して叩いたり潰したり曲げたり鍛えることを鍛鉄（たんてつ）と呼び「ロートアイアン」とも呼ばれています。溶かした鉄を型に流し込む「鋳物」とはちがうものです。▼「鍛鉄」との出会いから田原へ●今から24年くらい前に神戸で機械関係の仕事をしていました。阪神大震災があり、復興事業として鉄を加工したり機械を修理している時に、見上げたビルの外壁に鳳凰（不死鳥）をモチーフにした鉄の店舗サインがあり、復興や再生の願いを込めた何より美しい造形に魅せられました。美術や建築の本などを調べ、それが「ロートアイアン」だとわかりました。その後、職場の廃材を使って鍛鉄にチャレンジしてみましたと思うところにならず、のちの親方に手紙を送ったところ、「デッサンをしたことはありますか？」「このような仕事をしたことがありますか？」などど返事があり、仕事後にデッサン教室に一年間通い、また「見学させてください。」と何度も手紙を出し、やっと見学に行きスタッフの方と一緒に少しだけ作業させていただきました。そこでますます鍛鉄という仕事に魅了されました。その後も手紙を書き続けたある日、親方から「一人辞めるのだけどうする？」と声をかけられ、このタイミングを逃すべきではないかと思いついて、このタイミングで仕事を辞め埼玉の鍛鉄工房のスタッフとして働くことができました。そこで7年間修行をし、ここ田原で独立して12年目です。▼作品について教えてください。●おもに鉄を使った建築に関わるものが多いです。表札やポスト、店舗のハンガーラックやディスプレイテーブル、大きな物ではビルの柵や門扉など。奈良でわかりやすい所だと「プリンの森」さんの

壁サインと外階段の手すりも制作しました。変わったものだと火で焼いた跡の「鉄の焼き肌」を気に入り、注文して下さる方もいらっしやいます。お客様とのコミュニケーションを大切に、想いを受け止められるよう心掛けて制作しています。▼これから先の展望は？●こんな職人が、ここに居ることを多くの皆さんに知っていただき、妥協するのではなく自分だけのオーダーメイドの物を、もっと身近に置いてもらえるように鉄の魅力を伝えられる仕事をしていきたいと思っています。



工房での作業の様子

▼最後に、田原の好きな風景を教えてください。●この場所とかではなく、朝起きて正暦寺から春日野そして田原へ走る通勤の道が好きです。木立ちの間をくぐって走っている「霜が降りたなあ」や「鹿が鳴いている」など、カレンダーで見える季節ではなく肌で感じる気温や空気・匂いで四季の変わる様子がはつきりわかるんです。▼「震災を経験している」ので、やりたいことが出来ないで悔しい想いで亡くなった方々がいる中で、生きているからにはやりたいことをやろうと思った。」と話してくださいました。小さい時から鉄が大好きで、大人になってからは鍛鉄に魅せられ、童心の頃のように真っすぐ前を向いて歩いている姿が微笑ましく思いました。

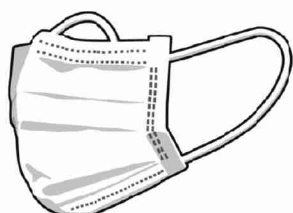
新型コロナウイルス感染拡大 防止に関わる対応について

奈良市は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、3月末現在ほとんどの市主催行事を中止または延期しています。

公民館においても奈良市の方針に伴い、3月までの主催事業、イベントは全て中止。4月以降も実施できるかどうか調整中です。

自主グループ活動や公民館での地域活動においても、不要不急の活動はできる限り自粛をお願いしているところで

す。東京五輪も延期が決定し、今は新型コロナウイルス撲滅に向けて一丸となる時です。どうかご協力をお願い申し上げます。



4月の公民館行事とその他のお知らせ

- 8日（水）田原小中学校入学式
- 21日（火）狂犬病予防接種 公民館駐車場
- 29日（水）昭和の日 祝日のため休館

田原地区の世帯数と人口は

世帯数 746世帯
総人口 1637人
男性：802人 女性：835人
（令和2年3月1日現在）
●昨年度31年3月1日付けでは世帯数746世帯
総人口1688人、男性828人・女性860人でした。

